

9月の幾代会 観察会

東久留米市 黒目川沿いに沿って

黒目川は小平霊園の北側を源流とした湧水です。途中東久留米市を流れる落合川（これも湧水）と合流し、黒目川として北東に流れる川です。川沿いは遊歩道が整備されており、サイクリングロードとしても使われています。合流地点は水量調整のための工事が行われていました。落合川は河童天国で幼児から大人まで、じゃぶじゃぶとやっていました。

日 時 9月1日（日）

集合場所と時間 JR 拝島駅 出入口 8時45分 西武拝島発 8時48分発

電 車 日向和田8：13→青梅8：22→拝島着8：39 八王子8：28→8：43着
西武拝島8：48発→花小金井9：12着北口へ徒歩5分→5小前でバスに乗る。清瀬駅行き
(9：19頃) 総合高校下車

コース 下車後黒目川（上落馬橋→曲橋→レンゲ公園（トイレ）→下田橋（西武池袋線下）→大門橋（早めの昼食）→神山大橋→黒目橋（合流地点を見学）市スポーツセンター→落合川へ落合川右岸を上流に向かう→落合橋→不動橋（池袋線下）→美鳥橋→竹林公園へ（トイレ）→竹林通り→老松橋（落合川）→南沢水辺公園→老松橋（落合川左岸を通り）→東久留米駅バス武蔵小金井行き（駅出口すぐ）花小金井駅（電車）→西武拝島

持参するもの 何時もの小道具 虫よけスプレー 傘（日傘） 水筒 その他

昼 食 大門橋付近の食堂で、なお時間調整がるかもしれませんので間食を用意。

* 参加される方は 水曜日までにメールでお願いします。現在5名参加予定

黒目川、落合川沿いに歩く

日 時	9月1日（日）	観察会実施	天候	晴れ
場 所	東久留米市 黒目川、落合川に沿って			
参加者	羽深 岡 須崎 太田 木村洋子	越前 中部	7名	
下 見	8月25日（日）	参加者	須崎 宇津木 中部	3名

下見も含めて、状況報告

初めての場所は苦勞する。それが下見。今回も現地に行かなければわかりにくい。凡そわかっている現場に行けばはてな？となつて分からない。徹底した下見の調査などやれないからだ。

コースの手順ができたところで交通の方法が決まってくる。とはいえ、気がつかないことも多い。電車が常に優先してきたからである。

今回はバスを優先的に使い、歩き出すところまでバスで行くことにしたのである。そこでまず花小金井駅まで行き、そこからバスで行きたいのだが、まず南口に行き北に行くバス停が見当たらない。今度は北側のバス停に行き、どうも目的のところで降りるバスはない。その時、清瀬行は街道まで行ってそこで乗るよにと教えてくれた。

さて、たどり着いたところは東久留米行きのバス停と清瀬行のバス停が並んでいる。目的の停留所はどれか探すけどどこかわからない。東久留米高校とある古い地図で探していたからである。今は東久留米総合高校となっているのだ。清瀬行だ。探している間に 東久留米行がバス停を離れた。ちょっと停車したのでドアをたたいたが開けてもらえなかった。やむなく次のバスを待つ。10分以上待つようだ。東久留米行は途中で曲がるので乗れない。あれこれ話している間に清瀬行のバスが来る。

乗って座ることができた。武蔵小金井からやってくるバスである。乗って十数分バス停を下りると目の前が東久留米中学校である。道路の反対側に黒目川の表示が見えた。川を覗くとその水量に圧倒された。川は東に向かって流れ、中学と並行している。この川は途中で落合川と合流する。いずれも湧水が源流である。合流すると北側に流れ荒川に向かって流れる。合流点から北側に流れるということは北側が低いことになる。この水は結局埼玉県の田んぼや畑の水になっていることになる。武蔵野の台地には流れない。それでも野火止にはいかないのだろう。野火止用水を必要としていた。下見のことばかりになった。当然 当日は流れよく、清瀬行に乗れた。

黒目川は深いところを流れており水辺に降りることは出来ない護岸が形成されていた。3面河川ではある。ヨシが繁茂しかつては汚れていたに違いないが下水管の普及で水がきれいになったものだろうか。

さて、さて 植物については9月になるとさすがに実のなるものが増えることが分かる。まだ熟すには程遠い季節である。9月の終わりごろは熟した実が見られることだろうと思う。

見つけた植物は別にてしてあるので、名前を見て、調べながら思い出してください。

最後に、食べた食堂の天ぷらがなんと二倍近い量で、7人中8人が平らげる姿がありました。キス2個、海老天2個ですよ。アジも2つ その他野菜も2個ずつ。そして開放された落合川では大人も子供も川の中で大はしゃぎの姿に出会いました。

黒目川、落合川に沿って、観察された植物 令和元年9月1日 (自分で思い出す、調べるなどして)

- ムクノキ
- アベリア
- ムクロジ (実)
- ネズミモチ (実)
- コムラサキシキブ
- ムベ
- ノブドウ (実)
- ヨシ
- カラスウリ (実 みどり色)
- シモツケ (白色もあり)
- コアカソ、
- クサコアカソ
- アレチマツヨイグサ
- ヤブガラシ
- ヒヨドリジョウゴ
- ガウラ
- ワルナスビ
- ジュズダマ (実)
- センニンソウ
- ドイツトウヒ (実)
- キバナコスモス
- ムクゲ
- コスモス
- アカメガシワ (実)
- シロシキブ (実)
- ヤブミョウガ
- イタドリ
- ツユクサ
- キクイモ
- ヒメジョオン
- ヒメムカシヨモギ
- オニドコロ
- イノコヅチ
- アオツツラフジ
- オニグルミ (実)
- アレチウリ
- イヌツゲ (実)
- ガガイモ
- ヒルガオ
- シロヤマブキ (実)
- エノキ (実)

- オニグルミ (実)
- ハリグワ
- マメアサガオ
- フヨウ
- ミズキ (実)
- カンナ
- サルスベリ
- ウラジロハコヤナギ
- レンゲショウマ
- ノウゼンカズラ
- ピンクノウゼンカズラ
- オナモミ
- エビスグサ マメ科 偶数羽状複葉 先端の複葉2枚が大きな6葉で黄色の花 雌蕊が伸びていた豆袋
- アオゲイトウ
- オオカナダモ



センニンソウ
エビスグサ



アカメガシワ
ウラジロハコヤナギ



キバナコスモス (上段)
ヒヨドリジョウゴ (下段)